

## 前回の意見交換のまとめについて

## 1. 今期の協議テーマ

- 持続可能な地域づくりに社会教育が果たす役割  
～地域人材の育成を視点として～

## 2. 部会構成に向けた視点

- 地域における文化に関わる人材育成
- 地域における子育てに関わる人材育成

- 3. 上記に基づく提言をまとめるにあたり、事前に「提言内容での提案」の作成を依頼。これを踏まえて、前回グループごとに意見交換を行った概要のまとめは下記の通り。

## 【子育てグループ】

- ・世代や所属を超えた《つながり》を作ることが大事。また、活動の中心となる人材やコーディネートする人材の育成が必要。
- ・地域の住民同士が知り合い、交流する機会を創出していくことも《持続可能な地域づくり》につながっていくのではないかと。また、データベース等を作り、人材や団体を知る機会を増やすことも大切。

## 【文化グループ】

- ・活動場所となる施設を使いやすく整備して欲しいとの声が多かった。
- ・安定的な活動を維持できるような助成金の新設を検討しても良いのではないかと。また、申請手続きをサポートする体制も整備していく必要があるのではないかと。
- ・各団体の活動をデータベース化し、それらを伝えていく人材も必要ではないかと。
- ・伝統文化を披露する機会の提供とともに、その地域に都心部の潜在需要がある人が見に来てくれる仕掛けづくりを行い、人材を発掘することが重要ではないかと。

- 意見交換の内容を受け、述べられた質問・意見は以下のとおり

- ・コミュニティ・スクールの導入により、地域の中で新たなまとまりがつけられた事例はあるか。  
→これからではないかと感じている。コミュニティ・スクールの中に、地域の活性化に繋がるきっかけづくりをする存在が必要になってくると考えている。
- ・市民センターや嘱託社会教育主事は、助成金申請に関して対応はできるのか。相談できる身近な存在になり得るのではないかと。  
→現在、市民センターの機能の中にはなく、嘱託社会教育主事についても助成金申請等の補助業務は担っていない状況。市民センターでは助成金に限ったことではなく、相談内容に適した行政機関・専門機関を紹介

介することに個別対応している状況である。また嘱託社会教育主事は地域をつなぐ、ファシリテーターとしての役割を重要視し活動している。

- 『仙台市市民活動サポートセンター』は様々な市民活動のサポート機能があるが、存在があまり知られていないと感じる。
- 紙媒体だけでなく、SNS 等の利用も含めた周知方法へ移行していくことが必要ではないか。
- 地域で文化的な活動をする団体は、市街地ではなく、身近な場所に相談窓口を求めているのではないか。